恵庭ふるさと公園ワークショップ検討内容一覧

項目	WSの主な意見	実施計画反映
既存樹木	<ul style="list-style-type: none"> ・大きく樹形に特色ある木はシンボルとして残す。 ・伐採したら復元できないので、慎重な議論が必要。 ・もっと伐採すべき。 ・伐採木の再利用化。 <p>※事前に市側で「残す木」にテーピングを施し、参加者に視覚的に示した。</p> <p>※高木1,228本のうち「残す木」は410本（2/3伐採）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・伐採木の選定は市が示した案とする。 ・伐採木の一部を利用して樹名板等に再利用する。（住民参加）
芝生広場	<p>※A案（75m×55m＝4,000㎡）、B案（40m×45m＝1,800㎡）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黄金学園通からの視認性を確保し、黄金学園通通行者にアピールする。 ・既存樹を多く残すカシワ林と対比し、メリハリをつける。 ・避難場所やイベントの活用を踏まえ、広いほうがよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大きさはA案を採用。 ・芝生広場内の大木はバランスよく残す。
カシワ林	<ul style="list-style-type: none"> ・既存野草に加え、ニホンスズランの群集は良い。 ・スズランを含め白を基調とした植栽が良い。 ・白のみだと墓をイメージしやすい多色の植栽が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カシワを始めとする既存樹木・野草が残る空間とする。 ・常設施設整備は最低限とし、自然風景を楽しむ。 ・ウッドチップの散策路とベンチを整備。 ・ニホンスズランは苗畑から移植する。（住民参加）
腐葉土スペース	<p>※A案（13m×4m×高さ0.7m・3連式）</p> <p>※B案（2m×2m×高さ0.4m×2基）</p> <p>※本件は公園の愛着度向上、リサイクルの観点から昨年提案があったもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・位置は基本計画に示す位置が良い。 ・臭い等の観点から配置には住宅から離すなど配慮が必要。 ・腐葉土を用いたイベント・利活用について。（焼き芋＋落ち葉拾い、落ち葉プール、カブトムシ育成、腐葉土配布） ・大ピットは子どもが隠れてしまうため防犯上懸念あり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大きさはB案をベースとし、ニーズがあれば今後増設を検討する。
学園通沿いの植え込み植栽	<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理の容易なもの ・地域が参加できるもの ・周辺にはベンチ等の休憩施設を配置 ・周辺樹木と調和が図れれば良い ・具体的な植栽計画は専門家が検討した方が良い ・ユニバーサルデザインを考慮したもの ・手洗い場が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ広場や既存樹木と一体的で、木立と彩りを誰もが楽しめる植え込み植栽とする。 ・植え込みの一部は立上りのある花壇とする。
望みの丘	<p>※広場と一体的な活用を踏まえ、市から4案提示。</p> <p>※現況案、A案（法面の樹木伐採）、B案（A案＋芝生広場側法面下部のみ緩斜面化）、C案（A案＋芝生広場側法面全面緩斜面化）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・C案の広い斜面が最も利用頻度が高い。 ・花見場所として桜を点在させる。 ・頂上を盆踊り会場としたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・法面は芝生広場との一体的な景観構成、多様な利用形態から「C案」を採用。 ・景観を損ねた既存樹木は伐採。 ・花見場所として新たに桜を植樹。

項目	WSの主な意見	実施計画反映
手洗い場	・ カシワ林、コミュニティ広場に必要。	・ カシワ林、コミュニティ広場近傍に1基ずつ配置。
休憩施設	・ 園路沿いや広場にはベンチ・スツールなど休憩施設を多く配置してほしい。 ・ 大きな樹木があるので、屋根付き休憩施設は必要ない。 ・ 学園通側は雨宿りのできる屋根付き休憩施設がほしい。	・ 園路及び広場部分に適宜ベンチを配置。 ・ 屋根付き休憩施設は、学園通りに近い園路部分に1基整備する。
複合遊具	※昨年WSでツリーハウス設置の要望があった。 ・ 複合遊具はプレーパークで遊べそうな自由度の高いものが良い。	・ ツリーハウスは高額な上、構造計算ができないため不採用。 ・ 複合遊具は既存複合遊具が使用可能なこと、財源に限りがあって休憩施設が設置できなくなることから不採用。
コミュニティ広場	ブロック舗装はがたつきがあり、良くない。 催し時に使用できる電源が必要。	・ 景観形成の観点からレンガブロックを採用。ただし、目地なし・段差なしのレンガブロックを使用する。 ・ コミュニティ広場に電源を設置。
園路	・ 水路沿いの園路は木々や芝生広場との調和を考慮し、ウッドチップ舗装が良い。	・ 水路沿いとカシワ林内の園路はウッドチップ舗装を採用。 ・ 提示した舗装計画図の通り
照明施設	※市側から照明配置計画案を提示（既存照明の移設）。 ・ 市の照明計画が良い。	・ 提示した照明配置計画図を採用。
記念碑 園名板	※昨年WSから元墓地であることを踏まえた公園の沿革を示す記念碑の要望があった。 ・ 記念碑は必要。園名板との併設でもいい。	・ 記念碑・園名板の併用したものを配置。
今後の かかわり	・ 子どもたちが参加できる施設づくりは良い。 ・ 地域が管理運営に関われる組織づくりをしたい。 ・ 今後もこのような集まりを定期的に行いたい。	・ 園名板の化粧材に子どもたちの作品を使用する。 ・ 伐採樹木を利用して、子どもたちと樹名板作る。 ・ 今後の公園の管理運営については、市や指定管理者が中心となって定期的な話し合いの場を設け、組織化していきたい。